

# 第1回 自然観察会「平地の自然を観察しよう」 活動の記録

平成31年 4月24日

- 1 日時 平成31年（2019年）4月20日（土） 8時30分～11時30分
- 2 場所 富水駅～桑原の水田（畦道）、用水路、田んぼビオトープ
- 3 講師 高橋 由季（酒匂川水系のメダカと生息地を守る会） 渡邊 建雄（元小学校教頭）  
山室 徹（元小学校総括教諭） 長山 高子（元中学校教諭）  
初瀬川孝夫（白鷗中学校教頭） 村岡 俊明（国府津中学校教諭）  
西垣 亮（白山中学校教諭） 坂本 和優（酒匂中学校教諭）  
谷 圭司（元中学校総括教諭） OB ボランティア2名 敬称略
- 4 内容 水田や用水路などに観られる動植物の観察を通して、平地の自然の様子を理解する。  
（畦道や田畑の草花、昆虫、野鳥、用水路やビオトープのメダカの観察等）
- 5 日程  
8：30 小田急富水駅集合  
8：30～8：40 あいさつ、日程等の説明、諸注意  
8：40～10：00 富水駅～アリーナ周辺（移動途中の動植物の観察）  
10：00～10：45 桑原地区の水田・用水路・ビオトープの観察  
10：45～11：00 観察のまとめ・挨拶  
11：00～11：30 富水駅へ移動、解散

## 6 活動のまとめ

◇ 晴れの予報に反して薄雲が広がり、朝はひんやりした空気に包まれてスタートしましたが、途中薄日が差し、風を心地よく感じながら観察を行うことができました。この観察会を楽しみにしてくれている子どもも多く、新年度早々の実施でしたが、大勢の児童・生徒・保護者の皆様が参加してくださいました。途中、植物や昆虫、野鳥、地形などについて、それぞれの専門講師からわかりやすく説明を受けました。



虫眼鏡で植物を観察

◇ 今回観察したのは、富水駅から小田原アリーナ付近の住宅街や田んぼ、桑原のメダカビオトープです。酒匂川を挟んで右岸の富水は住宅街、左岸の桑原付近は工業団地と開発に差があります。メダカビオトープ付近でも田んぼが年々減少しているそうです。自然環境が変化していく中で動植物がどのように生息しているのかを観察しました。

◇ スタート地点の富水駅前では、コンクリートの隙間に生えている植物を観察しました。コンクリートの隙間にコケが生え、そこに植物の種子が飛んできて生育するのだそうです。ツボミオオバコなどの外来種を見つけました。また、富水駅から小田原アリーナに向かう途中、駅前交番や商店の軒先で、ツバメを観察することができました。



軒先の巣に入るツバメ

◇ 外来植物の中には、繁殖力が強く希少在来種が駆逐されてしまう危険があるものもあります。今回も用水路の中に、特定外来生物に指定されているオオカワヂシャや要注意外来生物に指定されているオランダガラシ（クレスン）などをたくさん見つけることができ、繁殖力の強さを実感しました。

◇ 水田や畑では、使用した肥料や水によって収穫後に生息する植物やその生育具合に違いが出るのだそうです。人間の関わり



用水路に広がる外来植物

方が植物の生育環境に与えているということになります。小田原アリーナ北側の田んぼでは、草笛で遊ぶことができるセトガヤやスズメノテッポウ、レンゲ、ハハコグサなどを見つけることができました。

- ◇ 小田原アリーナ横の用水路にかかる橋でミノムシ（オオミノガの幼虫が作る巣）を観察しました。毎年この橋の欄干にオオミノガの幼虫がミノムシを作ります。ミノムシは、鳥がつついても壊れないようで、ここがミノムシにとっては絶好の生息場所なのかも知れません。また、この付近には、元々牧草に用いられていたネズミムギが自生しているそうです。ネズミムギはヨーロッパ原産でイタリアンライグラスとも呼ばれ、要注意外来生物に指定されています。



オオミノガのミノムシ

- ◇ 酒匂川右岸の富士道橋際では、県西部の地形やその成り立ちについて学習しました。小田原の北部には松田断層、東部には国府津断層と呼ばれる断層があり、3000年で10メートルくらい隆起をしているそうです。また、南部には相模湾、西部には箱根火山があります。この天然の要害に目をつけ、小田原を本拠地として戦国大名の先駆けとなったのが北条早雲です。地球は13枚のプレートから成り立っていますが、その中の4枚が日本にかかっているそうです。そのため日本には火山が多く、温泉や美しい自然を造り出していますが、一方では、噴火や地震など多くの自然災害をもたらしています。



小田原の地形について学習

- ◇ 酒匂川左岸の小川でモンカゲロウを見つけました。子どもたちの中に講師顔負けの昆虫博士がいて、モンカゲロウの特徴についてみんなに詳しく説明してくれました。
- ◇ 年々田んぼは減少していますが、メダカビオトープ近くの田んぼでは、今でも春の七草を見つけることができるそうです。講師が子どもたちに春の七草を知っているか聞いたところ、意外にも七草全ての名前が返ってきました。

- ◇ 桑原のメダカビオトープでは、「酒匂川水系のメダカと生息地を守る会」の高橋一公さんがメダカについてお話をしてくださいました。メダカは、日本各地でその呼び方が異なり、全国でおよそ5000もの呼び方があるそうです。小田原地方では、ザッコとかメザカと呼んでいたそうです。今では神奈川県内で野生のメダカ（ミナミメダカ）を目にすることができるのは小田原だけです。なぜ、小田原で野生のメダカが生息し続けているのかということ、桑原・鬼柳地区には昔ながらの農業用水路や田んぼが残り、メダカが田んぼと用水路を行き来できる環境が保たれているからだそうです。



メダカビオトープ

- ◇ ビオトープとは、動植物が恒常的に生息できるよう造成または復元された小規模な生息空間のことだそうで、桑原のメダカビオトープは、メダカが冬を越すことができるように作られたそうです。



- ◇ 富水・桑原地区にも年々開発の波が押し寄せてきています。古くからあった水神様の石碑が開発のために別の場所に移動していたり、昨年まで田んぼだった所に家が建ったりと、生物が生息する環境は厳しくなる一方です。今回の観察で自然が年々減少していることを実感しました。しかし、一方でたくましく生きている生き物たちの生命力も感じることもできました。この観察会が、子どもたちの自然に対する興味関心を高め、更には人間の生活と環境保全、在来種の保護などについて考える機会になればよいと思います。

## 7 参加者の感想

### <小学生2年>

- ・メダカを見ました。かわいかったです。メダカがなくならないように自然を残しているのがすごいなと思いました。メダカのぼりもかわいかったです。

<小学生3年>

- ・2年生の時には、生き物はそんなにいなかったけど、今日来たら大きい魚や小さい魚がいっぱいいました。休みの日に来て何か捕まえたいです。今日はありがとうございました。

<小学生4年>

- ・学校でもメダカの勉強をしたけれど、この回に参加してもっとメダカのことを知ることができました。メダカは身近にいつもいると思っていたけど、全滅危惧種なのがびっくりしました。この会に参加できてとてもよかったです。楽しかったです。あと少しで死にそうなメダカがいると聞いて、とてもびっくりしました。ありがとうございました。
- ・私たちの学校でもメダカを飼っています。5匹飼っていましたが、一匹亡くなってしまいました。一匹のメスが数十個の卵を草につけて産むのを初めて知りました。楽しかったです。

<小学生5年>

- ・メダカの四季の様子やメダカのことをたくさん知ることができてよかった。これからもメダカを大切にしていきたいと思った。
- ・今日はいろいろな生き物を見られて良かったです。特にすごかったのは、昨年いなかったカゲロウを今日初めて見たことです。メダカが減ってしまってとてもさみしいです。なので、頑張って復活してほしいです。川にも外来種がいっぱいいるので、ちょっと残念です。
- ・酒匂川の左岸にしかないメダカをもっと増やしたい。

<小学生6年>

- ・意外と身近に生き物がいることがわかりました。また、外来種が増えていたので、危機感を感じました。メダカを守ることはこれからも続けてほしいです。

<中学生2年>

- ・今回の観察会で、たくさんの花や生き物を見ることができました。なかなか、こういう風にしっかりと観察をする機会がないので、とても貴重な体験をすることができ、とても良かったです。本日はありがとうございました。
- ・小学校の時、メダカについて少し勉強したが、今回はメダカについて深めることができた。知らないことが多くて面白かった。メダカの種類や野生のメダカの数など興味深い話を聞いてうれしかった。次のつばめの観察も参加したいと思った。
- ・メダカの四季の様子や今の状況、そして、メダカを守るようにいろいろなことがされていることがわかりました。また、人生で初めてミノムシを見ることができました。
- ・メダカの大切さや小学校で習うこと以外もわかって良かった。そして、メダカは神奈川県でここ小田原だけということに驚きました。

<中学生3年>

- ・今回2回目の観察会参加ですが、前回学んだこと以外のことをたくさん知ることができました。先生方の説明が分かりやすく、メダカのプリントもあり、メダカがどんどん減ってきているという状況を知ることができたので、私もメダカを大切にしていきたいと思いました。いろいろなことを教えていただきありがとうございました。
- ・今回の自然観察会で、メダカ、植物、昆虫、鳥類などのことを知ることができました。今まではそこまで詳しくなかったのですが、今回でより詳しくなりました。特に、昆虫に一番興味がわいてきました。
- ・道祖神の引っ越し等、自然以外でも面白いことがあった。手を伸ばせば届くところにツバメの巣があったのもすごかった。また、「メダカのぼり」が世界で一つだけなのには驚いた。また来たい。

<保護者>

- ・この観察会にはとても興味があり、楽しいものでした。また、自然の新しいことを知り良かったです。特にメダカを含め、自然の中の生き物を詳しく知ることができ勉強になりました。このイベントに参加できてとても満足しています。ありがとうございます。



副読本「小田原の自然」で植物の名前を確認



メダカのぼりと記念写真

- ・初めて参加させてもらいました。身近の自然を深く知ることができ、大変勉強になりました。娘も楽しそうにしており良かったです。
- ・初めて来たのですが、知らない小田原の自然を知られてとても楽しかったです。これからはまわりの自然を見ながら、歩いてみたいと思いました。ビオトープがとても綺麗で、また、来たいです。そして、この自然を守っていきたいと思いました。

<教職員>

- ・道端に生えている植物について、多くの種類を生徒はメモっていました。学校にも生えている植物もたくさんあったので、学校でも観察したいと思います。メダカは速く、池の中では見つけられませんでした。残念です。今日はありがとうございました。



観察された鳥類

2019.4.20

1	ペリカン目	ウ科	カワウ
2	コウノトリ目	サギ科	ダイサギ
3			コサギ
4	タカ目	タカ科	トビ
5	カモ目	カモ科	カルガモ
6	キジ目	キジ科	キジ
7	ツル目	クイナ科	オオバン
8	チドリ目	シギ科	イソシギ
9	ハト目	ハト科	キジバト
10	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ
11	スズメ目	ツバメ科	ツバメ
12		セキレイ科	ハクセキレイ
13		ヒヨドリ科	ヒヨドリ
14		ヒタキ科ツグミ亜科	イソヒヨドリ
15		ヒタキ科ウグイス亜科	ウグイス
16		シジュウカラ科	シジュウカラ
17		アトリ科	カワラヒワ
18		ハタオリドリ科	スズメ
19		ムクドリ科	ムクドリ
20		カラス科	ハシボソガラス



以上 19科 20種類 + ドバト

